



ニュースリリース 平成 26年 8月 8日

**「常陽 大地と海の成長支援ファンド」による第1号案件への
投資決定について**

常陽銀行（頭取 寺門 一義）と株式会社常陽産業研究所（社長 鈴木 祥順）は、このたび、株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役 大多和 巖）との共同出資により設立した6次産業化ファンド「常陽 大地と海の成長支援ファンド」の第1号案件として、株式会社ジャパンアグリノベーションへの出資を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本投資案件は、「SMB C 6次産業化ファンド」との共同出資であり、同ファンドと連携して経営支援ならびに事業支援に取り組んでまいります。

常陽銀行グループは、今後とも、6次産業化による新事業創出・付加価値の創造に向けて、コンサルティング機能を発揮するとともに、積極的な資金供給に取り組んでまいります。

記

【投資案件の概要】

1. 投資先企業名	株式会社 ジャパンアグリノベーション
2. 代表者	代表取締役 本田 量規
3. 所在地	茨城県古河市長左エ門新田 990-3
4. 設立日	平成 26年 7月 10日
5. 事業内容	青果加工及び卸事業
6. 事業コンセプト	<ul style="list-style-type: none">・全国の生産者と連携（契約栽培）し、産地リレーによる農産物（レタス、キャベツ、白菜、リーフ類、枝豆等）の周年供給体制を確立する。・産地開発、生産技術指導、青果の集出荷、パッキング加工、大口需要家との取引開拓等を行い、生産量の拡大を図る。・JGAP認証等により高い品質・生産管理体制を構築する。

以上

(ご参考)「常陽 大地と海の成長支援ファンド」の概要

1. 設立日	平成 25 年 11 月 1 日
2. 投資対象	6次産業化法の認定を受けた6次産業化事業体で、6次産業化事業体を構成する農林漁業者または商工業者のいずれかもしくはその両方の営業拠点（本店含む）が当行の営業地盤内にある先
3. ファンド総額	10億円
4. 運営事業者	株式会社常陽産業研究所
5. 出資者	株式会社常陽銀行 株式会社常陽産業研究所 株式会社農林漁業成長産業化支援機構

※6次産業化…1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造・販売（2次産業）や小売・観光農園地など（3次産業）に取り組むことで、新たな付加価値の創造につながるとした考え方。

